

科目区分	専門教育科目	科目名	相談援助		科目コード	17Y680	担当者	島田 幸一郎			
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育士としての相談援助の必要性を理解し、保護者・子どもへの相談援助・支援の基礎を身につける。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育士としての相談援助の必要性を理解する。					◎	◎	○	○	○	○
2.	他者の意見やアドバイスを傾聴する姿勢・技術を身につける。					◎	◎	○	○	○	○
3.	他者と協力して課題に取り組む姿勢を身につける。					◎	◎	○	○	○	○
4.	子育て支援に関する社会資源の理解と協働の有用性を理解する。					◎	◎	○	○	○	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（50%） 提出物（20%） 発表内容（20%） 受講態度（10%）					
コミュニケーション力や人間関係を養うために、ロールプレイングなどを取り入れたグループ学習を中心とする。基本的な部分は、講義形式で理解を深める。											
準備学修						課題等への対応					
日頃から、児童虐待など子育ての現状や課題に注目し、自分なりの考えをまとめておく。また、友人や教員などと積極的に関わり、価値観の多様性に触れておく。なお、関連する資料の視聴などを含め、予習・復習に年間24時間以上を確保してほしい。						個人の提出物は確認後返却する。必要に応じてクラス全体に紹介することもある。グループ学習は、クラス全体に発表後質疑応答の時間をとり、全体に成果を還元することを原則とする。					
授業計画											
第1回	相談援助の意義										
第2回	現代社会と子育て支援										
第3回	保育と相談援助										
第4回	援助技術の種類と体系										
第5回	相談援助の進め方・基本原理										
第6回	相談援助者の資質・態度と技術（自己覚知）										
第7回	相談援助者の資質・態度と技術（他者理解）										
第8回	相談援助者の資質・態度と技術（基本的態度等）										
第9回	相談援助者の資質・態度と技術（記録）										
第10回	相談援助の実際										
第11回	相談援助の過程（インテークとアセスメント）										
第12回	相談援助の過程（援助計画）										
第13回	相談援助の過程（実施・評価）										
第14回	グループワーク演習（児童虐待への対応）										
第15回	地域社会における子育て支援										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
「演習・保育と相談援助」 監修 前田敏雄 みらい						子どもの保育にあたっては、保護者との連携が不可欠であり、その前提となるのが信頼関係の構築です。相談援助の意義と価値を理解し、「聴く」「共感する」力を高めてください。その上で、子どもの小さな変化を見逃さず、保護者とともに考え適切な相談・支援を行える力を身につけてください。					